

日本農業労災学会 Newsletter

第4号(No.4)2017年3月10日発行(一部修正4月17日)

●発行：日本農業労災学会事務局

〒184-0004 東京都小金井市本町1丁目8番14号

サンリープ小金井305

キリン社会保険労務士事務所内

電話番号 042-316-6420/FAX 042-316-6430

E-mail: irikiin@kirin-office.com

ホームページ: <http://jfapr.jp/>

会員各位

日本農業労災学会

会長

門間 敏幸

第4回大会実行委員長 北田紀久雄

2017年度(第4回)シンポジウムの開催について

平素より学会活動つきましては、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第4回シンポジウムについての開催概要がまとまりましたので、ご案内をさせていただきます。多くの会員の皆様、この分野に関心をお持ちの皆様をお誘いの上、是非ともご参加いただきますようご案内申し上げます。

2017年度(第4回)シンポジウム開催概要

1. 開催日時：2017年5月12日(金) 10:00~17:00
2. 会場：東京農業大学世田谷キャンパス横井講堂(東京都世田谷区桜丘1-1-1)
(農大アカデミアセンター 地下1階)
3. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会3研究部会
(労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会)
4. 後援団体：全国農協中央会、全国農業協同組合連合会、全国共済農業協同組合会、
日本農業新聞、東京都農協中央会、JA東京むさし、JA世田谷目黒

■第4回シンポジウムのテーマ

「農業労災事故防止を支える自助・共助・公助連携の取り組みと課題」

■開催趣旨・ねらい

最近、わが国でも増加している農業経営の法人組織または地域営農組織型農業経営では、従業員の雇用が一般化している。こうした組織経営体は、営利を追求する農企業としての性格とともに、地域農業の維持といった公共的な性格も併せ持っている。労働災害が発生した場合、これらの組織経営体の持続は困難となり、大きな社会損失をもたらすことになる。言うまでもなく組織経営体では経営管理者が中心になって従業員を参加させながら労働安全の取り組みを実践することが極めて重要である。一方、現在の農業経営体の主流を占める個別農業経営体の農業事故防止のための活動は、JA組織（自助・共助）、農業労災コンサルタント、農業機械士、社会保険労務士さらには医師などの共助が中心となりながら、国・県・市町村などの公助による支援が不可欠である。

2017年度のシンポジウムでは、以上の問題意識に基づき『農業労災事故防止を支える自助・共助・公助連携の取り組みと課題』という統一テーマを設定した。すなわち、農業法人、個別農業経営体の農業労災事故を撲滅するためには、営農組織ならびに個々の経営者の問題意識を高めて自助活動を促すとともにそれらを支えるJA組織（自助・共助）、さらには農業労災コンサルタント、農業機械士、社会保険労務士、医師などの共助と、自助・共助の活動を支える国・都道府県・市町村などの公助の連携が不可欠であるという基本認識に基づき、次の報告を準備した。

5. プログラム

- | | |
|---|-------------|
| 1) 受付開始 | 9:30～ |
| 2) 主催者挨拶： 学会会長・門間 敏幸（東京農業大学 名誉教授） | 10:00～10:05 |
| 3) 開催校挨拶： | 10:05～10:10 |
| 4) 座長解題：白石 正彦（東京農業大学 名誉教授・総研農協研究部会）
入来院 重宏（キリン社会保険労務士事務所・所長） | 10:10～10:20 |
| 5) 基調報告 | |
| 第1報告 今後の農作業安全対策の取り組みについて | 10:20～10:50 |
| 今野 聡（農林水産省生産局技術普及課 生産資材対策室長） | |
| 第2報告 JAグループの営農支援方策と農作業安全・労災補償に関する取り組みと課題 | |
| －JA長野県営農センターの取り組みを中心に－ | 10:50～11:20 |
| 都筑 伸一（JA長野県営農センター次長兼営農企画グループ長） | |
| 第3報告 自治体・JAグループ・農機業界連携による農作業安全実現の取り組みの到達点と | |
| 展開方向－北海道JA鹿追町の取り組みを中心に－ | 11:20～11:50 |
| 河辺 哲也（JA鹿追町営農部長） | |
| <休憩・昼食> | 11:50～13:20 |
| *第6回理事会（会場は当日案内） | 12:00～12:40 |
| *第5回会員総会：（会場：横井講堂：*シンポと同じ） | 12:50～13:20 |
| 第4報告 JAグループと社会保険労務士グループが連携した農作業安全・労災補償の | |
| 取り組みと課題－広島県の取り組みを中心に－ | 13:20～13:50 |
| 木山 恭子（社会保険労務士法人たんぼぼ会副所長） | |

第5報告 実態調査から見た農作業事故の問題点と対策 13:50~14:20
立身 政信(岩手大学 名誉教授・日本農村医学会副理事長)

<休憩> 14:20~14:30

6) コメント (40分) 4名 14:30~15:10

コメンテーター

(1) 原 温久 (東京農業大学 助教・総研労災対策部会)

(2) 緒方 大造 (日本農業新聞 論説委員)

(3) 堀内 政徳 (石川県金沢市・堀内社会保険労務士事務所長)

(4) 深井 裕 (JA 共済連 経営企画部次長・地域事業推進室長)

7) 全体討論 15:10~16:35

8) 座長総括 16:35~16:45

9) 閉会の挨拶 16:45~16:50

<*個別報告希望者がある場合は、16:50~17:30に時間設定して実施>

10) 交流会 (レストラン すずしろ) 17:30~19:00

(個別報告希望者がいない場合の交流会: 17:00~18:30)

6. 参加費等・申込み手続き

1) 参加費等

(1) シンポジウム及び交流会への参加費: 5,000円

(2) シンポジウムのみ参加費: 2,000円

(3) 交流会のみ参加費: 3,000円

(4) 不参加のため資料送付を希望の場合の代金: 2,000円 (送料込)

2) 申込み手続き

(1) 申込期限と申込み先

①個別研究報告を受け付けております。ご希望の方は、氏名・所属・連絡先住所・電話・E-mail・研究報告の題目を4月17日(月)必着、報告要旨(1,000文字以内)を4月24日(月)必着で、学会事務局(1ページ扉参照)並びに下記の北田紀久雄シンポジウム実行委員長宛(E-mail: kitada@nodai.ac.jp)にお申し込みください。

②シンポジウム参加等をご希望の方は、資料作成の準備がございますので、4月24日(月)必着で同封の返信用ハガキの該当欄に○印をご記入の上、お送りください。

(2) 参加費等は、同封の郵便振替票の該当欄に○印を付けて金額をご記入の上、5月2日(火)までに振込みをお願いします。

*非会員の方でシンポ等にご関心のある実践現場の方々のご参加を大いに歓迎します。

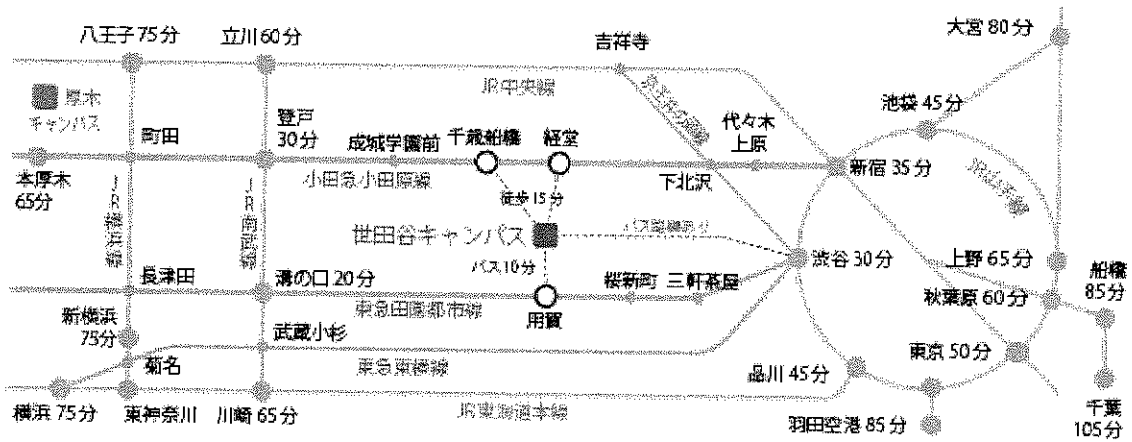
7. 大会事務局、問合せ先

本シンポジウムについての問合せは、下記までお願いいたします。

大会実行委員長 東京農業大学国際食料情報学部食料環境経済学科 北田紀久雄

TEL 03-5477-2359 FAX 03-5477-2621 (学科事務局) E-mail kitada@nodai.ac.jp

8. 会場 東京農業大学世田谷キャンパスまでの交通経路



小田急線

- ◆ 経堂駅下車 徒歩 約 15 分
- ◆ 千歳船橋駅下車 徒歩 約 15 分
バス 約 5 分 <千歳船橋駅～農大前>
東急バス 渋谷駅行… (渋 23) 等々力操車所行… (等 11) 用賀駅行… (用 01)

JR 山の手線

- ◆ 渋谷駅下車(渋谷駅西口) バス 約 30 分 <渋谷駅～農大前>
小田急バス 成城学園前駅西口行………… (渋 24) 調布駅南口行………… (渋 26)
東急バス 成城学園前駅西口行………… (渋 24) 祖師ヶ谷大蔵駅行………… (渋 23)

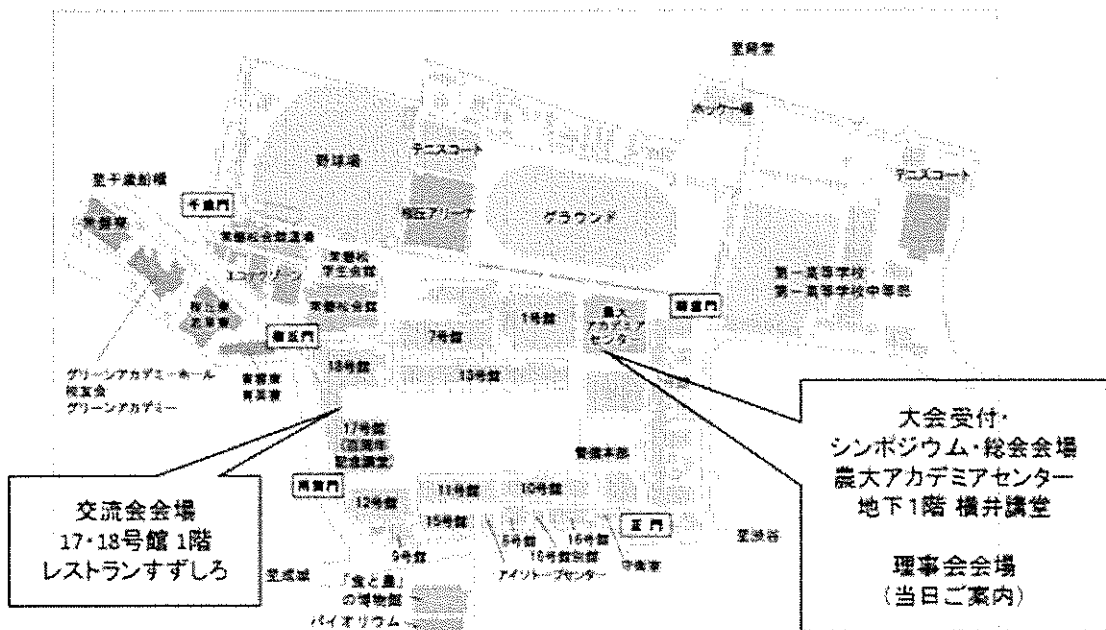
東急田園都市線

- ◆ 用賀駅下車 徒歩 約 20 分・バス 約 10 分 <用賀～農大前>
東急バス 世田谷区民会館行………… (園 02) 祖師ヶ谷大蔵駅行………… (用 01)

東急東横線

- ◆ 田園調布駅下車 バス 約 30 分 <田園調布駅～農大前>
東急バス 世田谷区民会館行………… (園 02)

9. 東京農業大学世田谷キャンパス 大会会場案内図



入会状況

2017年3月3日現在の入会状況をご報告いたします。

1号 正会員・・・120名
2号 学生会員・・・0名
3号 賛助会員・・・20名
合計・・・・・・・・・・140名

新規に本学会に加入を希望される方・その他（会員外）

「シンポジウム・交流会等への参加申込書」

送付日：2017年 月 日

日本農業労災学会事務局御中

(FAX⇒03-5651-0408、E-mail⇒ irikiin@kirin-office.com)

(該当欄に○印を記入して4月24日(月)必着でお送りください)

<input type="checkbox"/>	シンポジウム及び交流会の両方に参加
<input type="checkbox"/>	シンポジウムのみ参加
<input type="checkbox"/>	交流会のみ参加
<input type="checkbox"/>	不参加のためシンポジウム資料送付を希望
会員氏名：	(カタカナ:)
連絡先住所：〒	
連絡先電話：	
連絡先FAX：	
連絡先E-mail:	

*学会事務局に「参加申込書」が到着次第、振込用紙をお送りいたしますので、参加費などの事前送金をお願いいたします。

*入会を希望される方は、本学会（ホームページアドレス：<http://jfapr.jp>）から入会申込書にアクセス頂き、入会申込書にご記載の上で本学会事務局宛にFAX等でお送りください。

以上